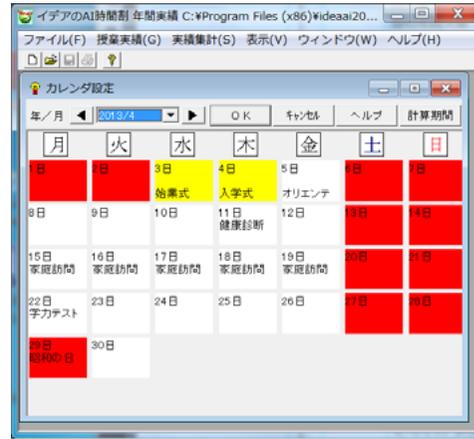


## 12-2 カレンダー設定と休業・実績一括設定

カレンダー設定は年間予定を設定する機能です。休日や行事予定日と時間、授業日と時間、また行事名やメモなどが設定できます。実績を取り込む前に、行事などをカレンダーに設定するようにしてください。

### (1) カレンダー設定の手順

カレンダー設定を行うには、メニューの「授業実績」→「カレンダー設定」をクリックします。右の画面を表示します。



通常の授業予定日は白色、休日は赤色、日曜日と土曜日は赤色で表示されます。この他、行事を設定すると、その日は黄色で表現されます。表示する年月は、年月選択コンボボックスまたは、 で選択します。

カレンダー表示部の任意の日をクリックすると、「授業設定表示ウインドウ」の中に、授業・休日・行事予定の設定内容が表示されます。行事や振替の休日、夏冬春の休み等を登録します。長期休業の設定は、休業一括登録が便利です。(2) 休業一括設定・解除を参照してください。

↓ 授業設定表示ウインドウ

授業・行事設定表示部

#### (授業・休業・行事の機能)

「授業」「休業」「行事」をクリックすると、それぞれの設定が、一日の全ての時間に設定されます。時間単位に変更したい場合は、「授業・行事時間設定表示部」をクリックします。



#### (行事記入欄・メモ記入欄)

行事記入欄には行事名を、メモには行事以外の何でも記録できます。記録したメモ、行事の内容は、カレンダー表示部のそれぞれ2段目、3段目に、5文字まで表示されます。

#### (授業・行事時間設定表示部)

授業・行事時間設定表示部をクリックすると、授業・休業・行事時間を1時間ずつ設定変更できます。それぞれの時間の枠を1回クリックするごとに、順に水色→赤色→黄色→水色…と変わり、「授業」→「休業」→「行事」→「授業」…と予定の内容を指定できます。

#### (設定日付)

設定開始日付と設定終了日付を設定する事ができます。家庭訪問など複数日に渡る行事をまとめて設定します。コンボボックスの横をクリックして年月及び日にちを設定します。複数日に渡る行事で、間に入った土日などは開催されない場合、「土曜と日曜は設定を行わない」にチェックを入れます。

### (2) 休業一括設定・解除

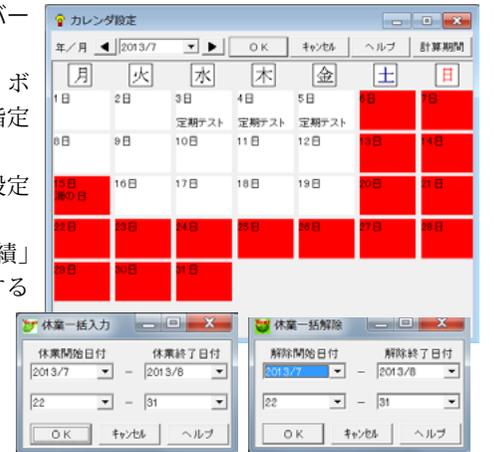
期間を指定して休業をまとめて設定・解除する方法を解説します。夏期休業や冬期休業の設定など

に使用します。休業一括設定を行うには、メニューバーの「授業実績」→「休業一括設定」をクリックします。

休業開始日付と、休業終了日付を設定して、「OK」ボタンをクリックします。上段が年月、下段が日付の指定です。指定された期間が休業に設定されます。

休業を設定したあとで、カレンダー設定で休業の設定を確認します。

休業の一括解除を行うにはメニューバー「授業実績」→「休業一括解除」をクリックし、上記同様、解除する日付の指定を行います。

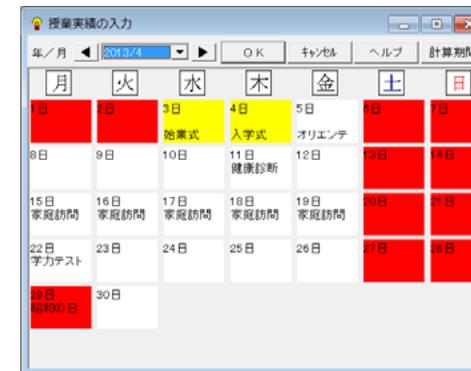


### (3) 授業実績一括入力・解除

期間を指定して授業をまとめて読み込みます。時間割のシミュレーションなどに使用します。

授業実績一括入力を行うには、メニューの「授業実績」→「授業実績一括入力」をクリックします。

入力開始日付と、入力終了日付を設定して、「OK」ボタンをクリックします。上段が年月、下段が日付の指定です。指定された期間に授業実績を読み込みます。



「授業の一括入力」では、時間割の他にカレンダー設定で設定された行事も自動的に取り込みます。授業実績を取り込んだあとで行事が発生したら、カレンダー設定に行事を設定後、「授業実績の入力」の該当日をクリックし、「行事の設定」ボタンをクリックすると、カレンダーで設定で設定した行事の部分が実績に反映されます。

授業実績や行事の1日・1時間単位の細かな設定・変更は「12-3 授業実績入力と時間割変更」を参照してください。

\*時間割のシミュレーションを行う場合には、授業の時間割データを入力する前の空の年間実績データを保存しておきます。これを読み込んで、時間割データを変更したあとで別の名前を付けて保存すると、それぞれのデータに対応して授業実績のシミュレーション結果が、比較しやすくなります。

### 12-3 授業実績入力と時間割変更

授業実績の入力は、授業や行事を1日ごとに、クラス単位・1時限単位で入力・変更する機能です。期間を指定してまとめて実績を入力する場合は、授業実績一括入力を利用してください。これについては、「12-2 カレンダー設定・休業一括設定(3) 授業実績一括入力」を参照してください。

#### (1) 授業実績入力

##### <授業実績入力の概要>

メニューの「授業実績」→「授業実績入力」をクリックします。次のような画面を表示します。カレンダー設定と同じようにカレンダー表示から、授業実績を入力する日をクリックします。

授業実績の入力されていない日は、やや暗く表示されます。ボタンの操作や、年月のコンボボックスの操作は、カレンダー設定と同じです。

カレンダー表示の中の日付をクリックすると、次の授業実績の記録画面が表示されます。

##### (時間割の取込ボタン)

時間割から授業データを取り込みます。ドラッグで範囲が選択されている場合は、選択された範囲の時間・クラスに授業を取り込みます。範囲が選択されていない場合は、その日全体に取り込みます。日曜日など、指定されている時間割データの該当の曜日、時限に授業がない場合は、授業の取り込みは行いません。

##### (取込み全削除ボタン)

取り込まれている時間割データや行事を全て削除し、未入力の状態にします。

##### (行事の設定ボタン)

カレンダー設定で設定された行事を反映します。ドラッグで範囲が選択されている場合は、選択された範囲に行事を反映します。範囲が選択されていない場合は、全体に反映します。カレンダー設定で、行事が指定されていない場合はボタンが表示されません。カレンダー設定の行事欄に行事が入力されていない場合は、行事が反映できません。

##### (OKボタン)

クリックすると、この日の授業実績を保存してウィンドウを閉じます。

(キャンセルボタン) 入力や修正を取りやめてウィンドウを閉じます。

(ヘルプボタン) ヘルプを開きます。



##### (メモ欄)

この日のメモを表示します。メモの内容を書き換えることができます。

##### (行事)

カレンダー設定で設定された内容を表示します。ここでは表示のみです。行事の変更はカレンダー設定で行ってください。

##### (前回取込んだ時間割)

この日に、時間割データを取り込んだことがあれば、前回取り込んだ時間割ファイルの情報が表示されます。取り込んだことがなければ、空欄になります。

##### (今回取り込む時間割)

これから取り込もうとしている時間割ファイルの情報が表示されます。

##### (授業実績グリッド)

現在入力されている時間割の実績が表示されます。範囲を指定して時間割や行事を取り込んだり、削除することができます。セルをダブルクリックしてコンボボックスを表示し、授業の内容を変更することもできます。

##### <時間割データの取込・削除の詳細>

時間割の取込ボタンを使用して、時間割ファイルにある授業実績を取り込みます。グリッドで取り込む範囲が選択されている場合は選択された範囲に、選択されていない場合は、全体に授業が読み込まれます。

##### 1日全体に時間割を取り込む

時間割の取込ボタンをクリックします。全てのクラスと時間に時間割が取り込まれます。

時間割データに授業のない日曜日などの時間割データは取り込むことができません。また、土曜日の午後なども、時間割データに授業が無いので取り込むことができません。

日曜日に月曜の授業を振り替えて行ったような場合は、後述の曜日や時限を指定して時間割データを取り込む方法で時間割を取り込むことができます。

##### 範囲指定した部分に時間割を取り込む

1年次の部分をマウスでドラッグして選択(青の反転)します。選択した状態で、時間割の取込ボタンをクリックすると、指定した範囲に時間割が取り込まれます。



↑ 授業実績グリッド



行事の設定も同じです。範囲を選択しないで行事の設定を行うと、行事の設定されている時限全体に行事が設定されます。範囲を選択して行事を設定すると、選択した範囲にだけ行事が設定されます。行事を実績入力するには、あらかじめカレンダー設定で行事を設定しておく必要があります。

\*学年毎に違う時間に行われる行事の場合、カレンダー設定では、全ての行事を設定しておき、この授業の記録画面で行事を行うクラスや時間をそれぞれ範囲指定し、「行事の設定」をクリックすると設定できます。

## 実績入力した授業の削除

授業を一日分すべて削除する場合は、取込み全削除のボタンをクリックします。これで行事を含めて、一日の全ての授業が削除できます。

特定の範囲の授業を削除する場合は、授業の内、削除する部分をドラッグして、範囲を選択(青の反転)します。キーボードの、DEL(デリート)キー(削除)を押します。選択した範囲の授業が削除されます。行事も同様に削除することができます。

## 振り替え授業の反映

本体プログラムで振替を行った場合は、振替により変更のあった全ての日に読み込めば良いのですが、本体プログラムで修正を行わず、実績にだけ反映したい場合の対応を説明します。ある日が火曜日の振替え授業になり、火曜日の授業を行う場合の例で解説します。

グリッドの時限を表示しているセルをクリックします。下の例では「1時限」のセルをクリックしています。

クリックすると、コンボボックスが現れ、指定した時間割の時限が選択できるようになります。

取り込む火曜日1時限を選択します。

続いて、2~6時限も火曜日の2~6時限に変更します。

時間割の取り込みを行うと、火曜日の授業を取り込んで実績が入力できます。



\*1時限単位で取り込む曜日と時限を指定できますので、1~3時限は月曜の授業で、4~6時限は火曜の授業といった取込みもできます。

授業の一部を変更した場合の実績は次のように行います。時間割を取り込んだあと、変更のあった授業を1時限ずつ科目と、先生を個別に変更できます。

変更する授業の先生又は科目のセルをダブルクリックします。

ダブルクリックすると、コンボボックスが現れますので、コンボボックスで変更する先生や科目を選択します。

1時限単位で変更できますので、実際の授業の実績を正確に入力することができます。

コンボボックスで選べるのは、先生は時間割に登録されている先生、科目は時間割に登録されている科目と行事です。



## <帯時間割の指定>

帯時間割もスライドさせながら、授業の実績を正確に記録することができます。新規に年間実績を作成する際に、帯時間割で運用するオプションを指定します。



新規作成で、年度と時間割ファイルを指定したあと、「帯(スライド)時間割で運用する」にチェックを付けます。帯スライドツールを使用している場合は、スライドした時間割を取り込むので、これは必要ありません。

\*帯時間割で運用するオプションが有効な場合は、現在の設定状況のウィンドウにも、帯運用と表示されます。

授業実績の入力も、表示や操作が変更され、帯の運用に適した形になります。

## (<< ボタン、>> ボタン)

この二つのボタンは、取り込む時限をスライドさせます。一度クリックするたびに1時限分スライドします。

## (グリッドに帯の番号)

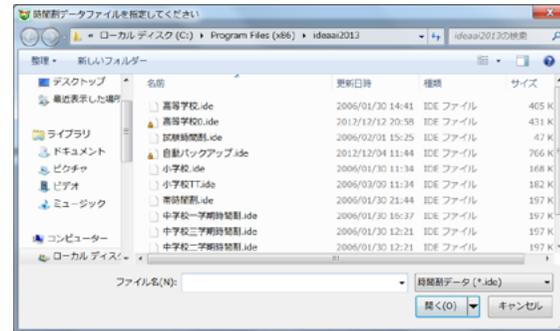
グリッドには帯の番号が表示されます。前回取り込んだ番号の続きの番号から授業を配置します。



## (2) 時間割変更

授業実績を取り込む対象の時間割ファイルは、新規作成の時に指定します。その後、時間割ファイルを変更した場合(データ名・フォルダ名の変更)にはメニューバー「授業実績」-「時間割変更」をクリックして、新しい時間割ファイルを指定します。時間割ファイルを変更すると、以降は新しく指定した時間割ファイルから授業が取り込まれます。

時間割変更を行うと、次のように時間割ファイル指定するウインドウが開きます。



新しく指定する時間割ファイルをクリックして選択し、開くボタンをクリックします。

指定された時間割ファイルが読み込まれ、時間割変更が行われます。

＊これ以前に取り込まれた授業の実績は、変更されません。

＊これ以降取り込む時間割データは、新しく指定した時間割になります。以前取り込んだ日に授業データを取り込む場合も、今回新たに指定した時間割データから授業が取り込まれます。

＊時間割変更は、何度でも行えます。

◎新規作成の時に指定した日数（1週間分とか2週間分）と変更した時間割の日数がことなる場合、ことなる日数の部分に授業データを取り込めない場合があります。時間割変更を行うときは、年間実績を新規作成で作成したときと同じ日数の時間割をつかうようにしてください。

◎後期の始まりが月曜日からでない場合でも、問題なく時間割変更を行うことができます。

時間割変更を行い後期時間割に変更してからでも、元の時間割データが残っていれば、また時間割変更を行って前期の授業実績を取り込むことができます。

◎試験時間割を読み込む場合などで、時間割データの曜日と取り込もうとしている曜日が一致しない場合は、時間割データに取り込む曜日の授業が無いなどの理由で、授業を取り込まないことがあります。このような場合は、グリッドの上の時限欄をクリックしてください。表示されたコンボボックスから曜日・時限を試験時間割の曜日・時限と一致したものを指定してから取り込むと、試験の時間割をうまく取り込むことができます。

## 12-4 授業実績の集計

授業実績の集計は入力された授業の実績と、指定された計算範囲の日付から授業時数を先生又はクラスごとに集計します。

### <計算期間の指定>

授業実績を集計する期間を指定します。指定できる期間は、年度内の4月1日から翌年3月31日までの任意の期間です。指定されていない場合は、年度内の4月1日から翌年3月31日までとなります。計算開始と終了の年月日を指定して、「OK」ボタンをクリックして指定します。

### <クラスの授業実績時数の集計表示>

授業実績は、クラス単位又は先生単位に集計できます。クラス単位の集計の例を説明します。

メニューバーの「実績集計」→「クラスの授業実績の集計」をクリックします。

#### (クラスの選択)

クラス選択コンボボックスのクラス名の中から、表示したいクラスをクリックして選択します。

#### (授業実績時数合計)

クラス単位の授業時数の合計は、行事も含めた実績時数の合計です。

#### (実績時数詳細)

クラス単位の授業実績時数の詳細内容は、グリッドの中に表示されます。「授業時間数」は、該当科目・先生毎の指定期間の授業時間数を表示します。「/35h」は、この授業時間数を35で割り、35時間を1単位とした単位数の目安として表示します。行事などの時間数が最後に計算されます。

選択科目名	先生名	授業時間数	/35h
国語	伊藤	123	3.5
書道	川崎	41	1.2
社会	今井	119	3.4
数学	辻村	122	3.5
理科	河原田	122	3.5
音楽	飯沼	81	2.3
美術	安田	37	1.1
英語	岩井	119	3.4
道徳	伊藤	42	1.2
1年保健1(保健)	(湯川 斎藤)	124	3.5
1年技家1(技術)	(佐藤、三浦)	83	2.4
1年LHR1(LHR)	(伊藤、川崎、今)	38	1.1
クラブ(クラブ、ク)	(伊藤、川崎、今)	41	1.2
1年総合(総合、)	(講師1、講師2)	84	2.4
オリエンテーション		2	0.1

### <クラスの授業実績一覧の集計表示>

授業実績は、全クラスの時数を科目別単位に集計できます。クラスごとの時間数の比較などが便利に行えます。

メニューバーの「実績集計」→「クラスの授業実績一覧」をクリックします。

クラスを縦軸に、科目を横軸に集計されます。

クラス	合計	国語	書道	社会	数学	理科	音楽	美術	英語	道徳	行事
1-1	1178	123	41	119	122	122	81	37	119	42	124
1-2	1178	118	41	121	124	122	79	38	122	41	124
1-3	1178	122	42	122	124	119	79	42	120	41	124
1-4	1178	120	37	119	124	121	82	41	119	38	124
1-5	1178	121	41	120	120	124	83	37	121	41	124
2-1	1178	124	41	123	120	122	41	41	124	38	124
2-2	1178	124	41	121	122	124	41	41	122	41	124
2-3	1178	122	42	120	124	124	39	42	124	41	124
2-4	1178	124	41	122	122	122	41	41	122	41	124
2-5	1178	121	41	123	124	122	41	41	122	41	124
3-1	1178	121	41	123	123	120	39	42	120	41	124
3-2	1178	120	39	121	122	122	41	42	124	37	124
3-3	1178	120	41	119	124	124	41	41	122	42	124
3-4	1178	123	41	119	120	122	39	42	124	42	124
3-5	1178	124	41	123	121	121	41	41	122	41	124

### <先生の授業実績時数の集計表示>

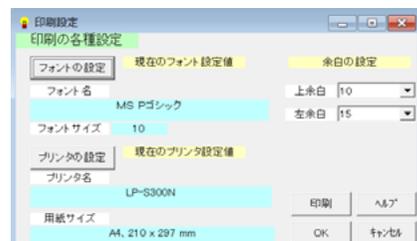
授業実績は、先生単位又はクラス単位に集計できます。先生単位の集計の例を説明します。

メニューバーの「実績集計」→「先生の授業実績の集計」をクリックします。



**<印刷設定>**

プリンタやフォントサイズなどの印刷条件を設定します。



**<ヘルプ>** ヘルプウインドウを開きます。

**<終了>** このウインドウを閉じます。

\*印刷の指定や印刷設定の方法は、アイデアのA I時間割と同様です。先生の印刷で、印刷順番を指定することはできません。

\*カラー印刷しておりませんので、カラープリンタを使用してもカラーで印刷はできません。

スクールパックは、アイデアのA I時間割の標準版製品にライセンスを付加し、本体の機能アップといくつかのツールを添付した製品です。この章では、このスクールパックの追加機能と添付されているツールの説明を行います。

スクールパックには、本体プログラムのスクールパック専用拡張機能、時間割データを結合・連結・分割・入替する結合入替ツール、時間割データを直接閲覧するビューワーの二つのツールが添付されています。標準版製品では、この13章で説明されている機能はご利用いただけません。

- 13-1 スクールパック追加機能
- 13-2 分担入力データの統合（結合入替ツールでの結合）
- 13-3 週単位の連結（結合入替ツールでの連結）
- 13-4 週単位の分割（結合入替ツールでの分割）
- 13-5 曜日・時間を指定して全校入れ替え（結合入替ツールでの入替）
- 13-6 結合入替ツールのオプション
- 13-7 表示ツール

**<スクールパック追加機能>**（本体プログラムの追加機能）

スクールパックオプション

空白の先生・教室も駒入れ対象 駒をシフトキー+ドラッグで1時間単位に分割  
 クラス単位に配置を固定するクラスマスク 教室一覧でドラッグドロップ時に空き教室明示  
 移動提案時に教室から押し出す駒の指定。複数の駒の中から押し出したい駒を指定できます。

選択授業一覧機能  別ウインドウの補助一覧表示  A I一覧表示での駒書き換え

**<結合入替ツール>**（付属プログラム）

- ・分担して別々に入力された時間割データを、ひとつにまとめる結合処理
- ・1週間分の時間割を二つつなげて、2週間分の時間割にする連結処理
- ・2週間分の時間割を二つに分割して、1週間分の時間割にする分割処理
- ・完成している時間割の授業を、曜日や時限を指定して入れ替える一括入替処理

結合入替ツールで処理を行い保存したファイルを、本体のプログラムで利用してください。

**<表示ツール>**（付属プログラム）

時間割データを表示するだけのツールですが、ユーザー登録されている学校（事業所）内では数に制限無くインストールできますので、時間割を利用する先生が、ローカル・エリア・ネットワーク（LAN）を介して最新の時間割データを閲覧するためのツールとして使用できます。

インターネットなど外部からの閲覧用には、アイデアのA I時間割の本体プログラムからHTML出力して、ホームページに公開するのが便利です。

メニューバー「設定と表示」－「オプション」  
 メニューバー「作成と手直し」－「A I一覧表示」  
 付属プログラム「結合入替ツール」を起動  
 付属プログラム「表示ツール」を起動